

2021年11月12日

各国公私立大学長 殿

サンフランシスコ・ベイエリア大学間連携ネットワーク(JUNBA)

会長 神山 知久

2021 年度第二回 JUNBA 勉強会開催の御案内

貴大学におかれましては益々御発展のこととお慶び申し上げます。

サンフランシスコ・ベイエリア大学間連携ネットワーク(Japanese University Network in the Bay Area: JUNBA)は、米国内に拠点を持つ日本の大学間の連携を図り、日本の大学の国際化、国際的な人材の育成、産学連携等の諸活動を支援し、日本及び米国における教育・研究の発展を主たる目的として活動しており、これまで日米双方の高等教育関係者が集うシンポジウム・サミット等を開催してまいりました。(JUNBA の詳細については https://www.junba.org/index_j.html をご覧ください。)

さて、9 月 15 日に開催した第一回 JUNBA 勉強会では、多くのご参加をいただき誠にありがとうございました。このたび、12 月 7 日(火)(日本時間)に第二回 JUNBA 勉強会を開催いたします。COVID-19 の影響により、大学等の高等教育機関では、カリキュラムの構築、学生支援、運営資金の確保等あらゆることに関して、従来とは大きく異なった視点での対応が求められています。第二回目となる本勉強会では、米国各大学のパンデミック下における「国際活動」にスポットライトを当てて議論することを予定しております。JUNBA は、本勉強会が各大学の今後の国際戦略策定に大きく寄与するものと期待しております。

つきましては、学長をはじめとして、部門を問わず広く大学の運営に携わる教職員の皆様に、是非とも御参加いただきたく、御案内申し上げますので、ご検討いただければと存じます。有意義な勉強会となりますよう、JUNBA 一丸となり鋭意、準備を進めて参ります。

当日プログラム及び参加申込等の詳細は、添付の通りご案内差し上げます。何卒、宜しくお願い申し上げます。

本件担当: JUNBA 事務局 太田、岡田

(日本学術振興会サンフランシスコ研究連絡センター内)

電 話: +1-510-665-1890

Eメール: sfo-junba@overseas.jsps.go.jp

Website: https://www.junba.org/index_j.html

2021 年度第二回 JUNBA 勉強会

コロナ禍における大学の国際活動と今後の展開
～州立・私立等の多様な米国大学から学ぶ最新事例～

【趣 旨】

めまぐるしく変化する現代社会において、社会通念は「競争から共創、所有から共有」へ、環境は「再生」へと、消費や労働さらには研究・教育までもが「対面からリモート」へと変容し、ポスト・コロナにおけるパラダイムシフトは加速している。コロナ禍における米国の大学が、キャンパスの国際的環境をどのように維持しているのかなどの実例を通して、分断された海外と日本の大学の環境下における新たな課題やその解決策について議論を深めていきたい。

【日 時】

2021 年 12 月 7 日（火）午前 9 時 00 分～午前 11 時 00 分（日本時間）

2021 年 12 月 6 日（月）午後 7 時 00 分～午後 9 時 00 分（米国東海岸時間）

2021 年 12 月 6 日（月）午後 4 時 00 分～午後 6 時 00 分（米国西海岸時間）

【スケジュール予定（日本時間）】（敬称略）

9:00～9:03	開会挨拶 神山 知久（JUNBA 会長、名古屋大学 NU Tech 所長）
9:03～9:10	JUNBA 概要紹介 田宮 徹（JUNBA 事務局長、JSPS サンフランシスコ研究連絡センターセンター長）
9:10～9:30	講演 1：コロナ禍でもあきらめない！ パシフィック大学の国際活動 ロスバーク 敦子（Pacific University）
9:30～9:50	講演 2：How CSUB Global Outreach Survived COVID 酒巻 有里（California State University, Bakersfield）
9:50～10:10	講演 3：Building Bridges without borders and beyond the COVID pandemic 鈴木 丈夫（The University of Tennessee, Chattanooga）
10:10～10:55	パネルディスカッション・質疑応答 モデレーター：田宮 徹 パネリスト：鈴木 丈夫、酒巻 有里、ロスバーク 敦子、三宅 雅人（JUNBA 理事、奈良先端科学技術大学院大 准教授）、丸山 マリ（JUNBA 理事、Obirin Gakuen Foundation of America, Executive Director）
10:55～10:58	閉会挨拶 田宮 徹

【場 所】

オンライン（Zoom の Webinar を使用予定）

【使用言語】

日本語

【参加対象】

高等教育機関関係者（大学教職員、研究者、学生等）

【申込方法】

以下 URL より 12 月 1 日（水）（日本時間）までに各自で申込

<https://forms.gle/XR8WXYjh6uayEQP9A>

【参加費】

無料

【主 催】

サンフランシスコ・ベイエリア大学間連携ネットワーク

（Japanese University Network in the Bay Area: JUNBA）

【問い合わせ】

JUNBA 事務局（日本学術振興会サンフランシスコ研究連絡センター内）

電話 +1-510-665-1890 ／ E メール sfo-junba@overseas.jsps.go.jp

【講演者経歴】



○鈴木 丈夫 氏 (Mr. Takeo Suzuki)

☆米国大学グローバル教育センター・ディレクター☆

テネシー大学チャタヌーガ校のグローバル教育センターでエグゼクティブ・ディレクターをしています。テネシー大学チャタヌーガ校は学生数約1万2千人を抱え、ESL プログラムから博士課程までを提供する総合大学です。グローバル教育センターでは海外からの留学生や研究者の受け入れ、本校学生の海外留学、ESL プログラム、ビザ関係の必要文書の発行等のマネジメントを任されています。また、国務省主催のプログラムを担当する機会も頂き、8千万円ほどの補助を活用し、ヨーロッパを中心としてエンターパニユアシップも推進しています。こちらで出会ったクロアチア出身の妻（中学校教師）と高校1年生の娘、中学1年生の息子と、自然に囲まれた豊かな環境で生活を毎日満喫しています。



○酒巻 有里 氏 (Ms. Yuri Sakamaki)

大阪府出身。関西学院大学社会学部卒業。カリフォルニア州立大学ベーカーズフィールド校教育学修士号取得。日本語、ESL 講師を経て、現在は同大学グローバルアウトリーチ部門、Study Abroad Programs ディレクター。著書に「日本人に足りないネイティブの英単語 100」（草思社）など。



○ロスバーク 敦子 氏 (Ms. Atsuko Rothberg)

日本と米国で学位を取得後、Intel Japan に入社。のちに Intel Corporation (オレゴン州) に異動。Intel Universityにて Account Manager として社員教育に従事。現在、Pacific 大学にて International Programs Coordinator として学部生の派遣留学を担当。少人数の部署のため、交換留学生の受け入れや ESL プログラムにも携わっている。